



石油小形給湯機

取扱説明書

夢太郎Ⅲs

型名

ASB-395SSG



お買い上げありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』(製品に添付)を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20803780 (K)

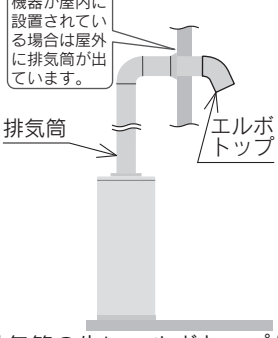
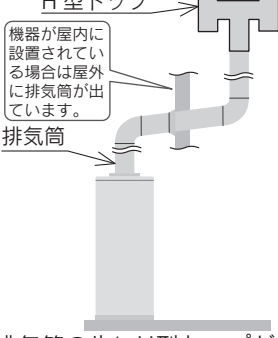
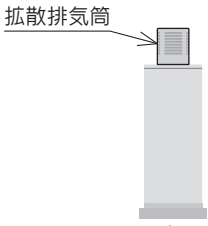
取扱説明書をお読みになる前に

機器の排気タイプと、ご自宅の混合水栓のタイプを確認してください。

□太枠内に英数字や✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

排気タイプは？

●本書では必要な項目で排気タイプを記載して説明しています。

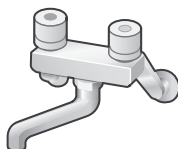
□ 強制排気タイプ	□ 強制通気タイプ	□ 無煙突タイプ
機器が屋内に設置されている場合は屋外に排気筒が出ています。  排気筒 エルボトップ 排気筒の先にエルボトップがついている。	H型トップ 機器が屋内に設置されている場合は屋外に排気筒が出ています。  排気筒 排気筒の先にH型トップがついている。	 拡散排気筒 拡散排気筒がついている。

混合水栓のタイプは？

●本書では2ハンドル混合水栓で説明をしていますが、必要な項目では混合水栓のタイプを記載して操作方法を説明しています。ご自宅の混合水栓のタイプを確認してください。

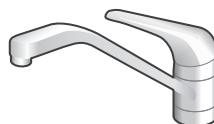
イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

2ハンドル混合水栓



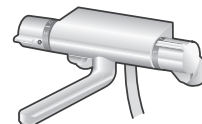
給湯栓(お湯)と給水栓(水)を回して温度を調節します。

シングルレバー混合水栓



レバーの位置を変えて温度を調節します。

サーモスタット付混合水栓



温度調節ハンドルで温度を調節します。

困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 7ページ

給湯器の動きがいつもと違う

▶ 27～30ページ

お手入れはどうしたらいいの？

22～25ページ

リモコンにエラーコードが出ている！

▶ 29・30ページ

も	く	じ	ページ
ご使用の前に		取扱説明書をお読みになる前に	2
		特に注意していただきたいこと	4
		各部のなまえ	11
		リモコンの名称とはたらき	13
		ご使用前の準備と確認	
		（燃料）	14
		（給湯）	14
基本の 使いかた		（油切れ予告装置について）	14
		（点火前の準備と確認）	15
		シャワーやじゃ口でお湯を使う（給湯温度）	16
必要なときに		冬期の凍結による破損防止について	
		（凍結予防）	18
		（水抜き後の再使用のとき）	20
		（凍結したとき）	21
		長期間使用しない場合	21
		日常の点検・手入れ（点検・手入れの必要事項、時期、方法）	22
		定期点検	26
		法定点検	26
		故障かな？と思ったら	
		（修理を依頼する前に）	27
		（エラーコード）	29
		部品交換について	31
		仕 様	32
		（安全装置）	33
		（その他の装置）	33
		据付け	34
		試運転	35
		アフターサービス	裏表紙

特に注意していただきたいこと

- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

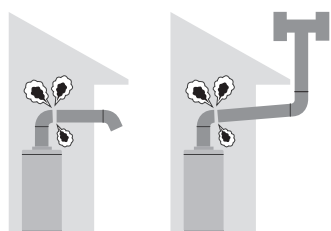
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		



●排気筒はずれ危険 (屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

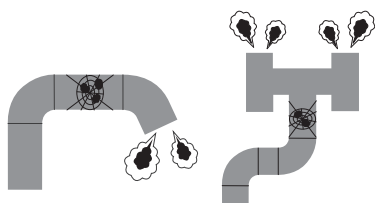
排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



●排気筒閉そく危険 (屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

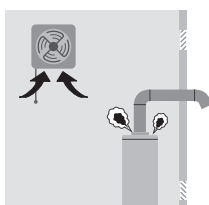


●換気扇の同時使用禁止

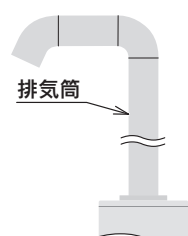
(強制排気タイプ・強制通気タイプで屋内設置の場合)

2ページ

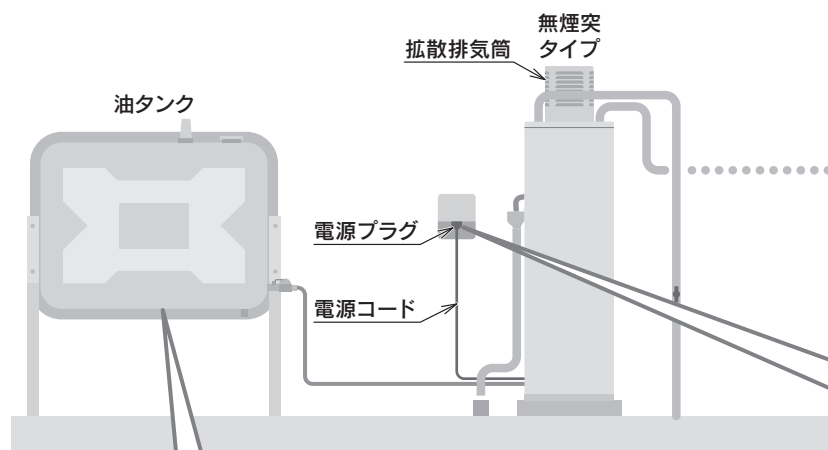
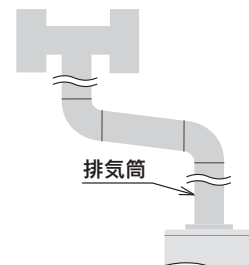
機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃焼中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。換気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



強制排気タイプ



強制通気タイプ



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

 禁止 「してはいけない」内容です。		 実行 「しなければならない」内容です。		
 ガソリン厳禁	 濡れ手禁止	 分解禁止	 接触禁止	 一般的な警告・注意
 高温注意	 感電注意	 アースを接続する	 電源プラグを抜く	

(WARNING)

高温注意

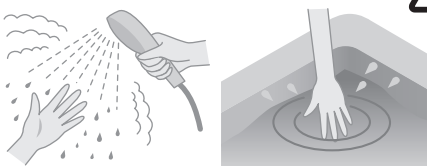
●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

(やけどのおそれ)



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



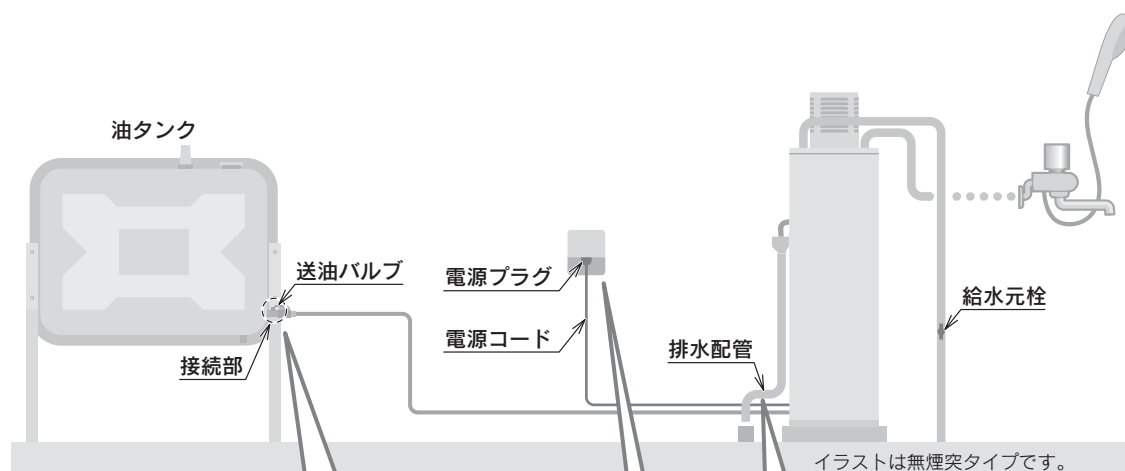
●電源コードは切断して延長しない

(火災・感電・発熱の原因)

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



特に注意していただきたいこと



●油漏れに注意する

(火災の原因)

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。



●排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない

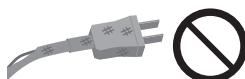
(健康を害するおそれ)



電源コード、電源プラグ、アースについて

●傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

(火災や感電の原因)



●電源コードに無理な力を加えない

(火災や感電の原因)

- ・無理に曲げない
- ・引張らない
- ・ものを載せない
- ・衝撃を与えない



●傷つけたり、破損させたりしない

(火災や感電の原因)



●電源プラグを濡れた手で触らない

(感電するおそれ)

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。



●電源プラグは確実に差し込む

(火災・感電・発熱の原因)



●電源プラグのほこりは定期的にふきとる

リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



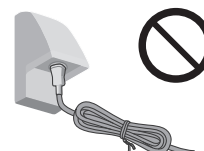
●電源コードを引張って電源プラグを抜かない

(火災や感電の原因)



●電源コードは束ねたまま使用しない

(火災や発熱の原因)



●電源プラグを抜いて停止させない

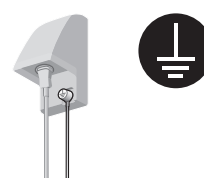
(火災や故障の原因)



●アースを確認する

(感電するおそれ)

この機器はアースが必要です。アースが接続されていない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

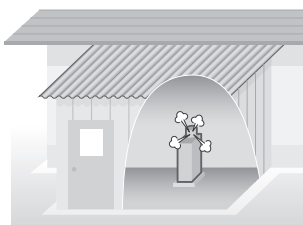


(CAUTION)

囲い禁止(屋外設置の場合)

(不完全燃焼や火災の原因)

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器や排気部などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプです。



●家庭用以外の使用禁止

(思わぬ事故や故障の原因)

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



地震や火災などの緊急時の処置

1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する



●ゴム製送油管の点検・交換をする

(屋内設置の場合)

ゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



使用上の注意

- 給湯・シャワー以外には使用しない

(思わぬ事故の原因)



- 分解修理・改造の禁止

(火災・感電・漏電の原因)

故障や破損したときは、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。



- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意



機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。

- 純正部品以外は使用しない

(事故や故障の原因)



- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

(火災・感電・事故の原因)



- 長期間使用しないとき

(火災や思わぬ事故の原因)



「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **19ページ**

子どもに注意する

(思わぬ事故の原因)



- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない
- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)

1. 以下の場合はすぐに使用を中止する
 - ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
 - ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
 - ・ ススが出る
 - ・ 油が漏れている
2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う **27~30ページ**
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する



可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない

(火災の原因)

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。

- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

(爆発や火災の原因)

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



高温部接触禁止

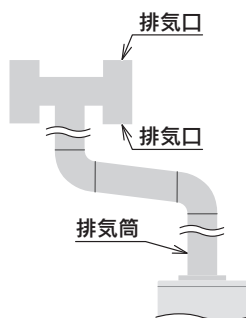
- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・拡散排気筒)に手など触れない

(やけどのおそれ)

強制排気タイプ



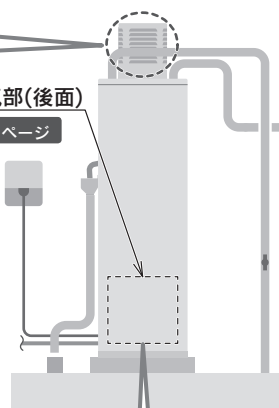
強制通気タイプ



無煙突タイプ



給気部(後面)
11ページ



- 給気部や排気口に指や棒を入れない
(けがや事故の原因)



お願い(NOTICE)

停電時の注意

- 停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にする**
停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
- 冬期に停電したとき**
凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。
ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。 **18・19ページ**

断水時の注意

- 断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める**
給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。
- 断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない**
(健康を害するおそれ)
飲用や調理に適さない水が配管にとどまる場合がありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

雷発生時の注意

- 雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く**
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。
- 雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む**
(感電するおそれ)
電源プラグを濡れた手で触らないでください。

使用上の注意

- 機器の近くに電気器具を置かない**
テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。
- エルボトップの真下にもものを置かない**
エルボトップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
真下にもものなどを置かないでください。



- 点検・整備のためのサービススペースを確保する**

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。

工事説明書参照

- 高地で使用するときはご相談ください**
(燃焼不良の原因)

標高1,000～1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,300mを超える場所では使用できません。

- 地下水・井戸水使用時の注意**

上水道の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

- 温泉水は使用しない**

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

積雪時の注意

●点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。

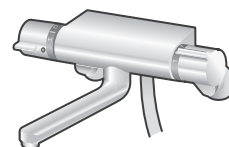


混合水栓について

●通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する
(出湯量が少なくなる可能性)

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●サーモスタット付混合水栓の使用を推奨
(やけど防止)



以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

●リモコンにエラーコードが出たとき

29・30ページ

(火災や事故の原因)

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。

●凍結のおそれがあるとき

18・19ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器内のお湯(水)について

●飲用に用いないでください

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水质、配管材料の劣化、水あかなどにより水质が変わることがありますので、飲用または調理には用いないでください。

リモコンの注意

●子どもにいたずらさせない

(事故や故障の原因)

●分解したり乱暴に扱ったりしない

(故障の原因)

●台所リモコンに水や水しぶきをかけない

(故障の原因)

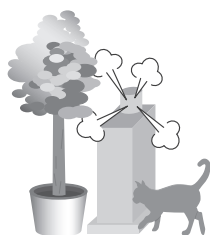
炊飯器や電気ポットなどの湯気にも注意してください。

●掃除のときは、ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー・塩素系カビ洗剤・酸性浴室用洗剤を使用しない

(印刷や塗装のはがれ・傷・変色などの原因)

排ガスについて

●植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない



●排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

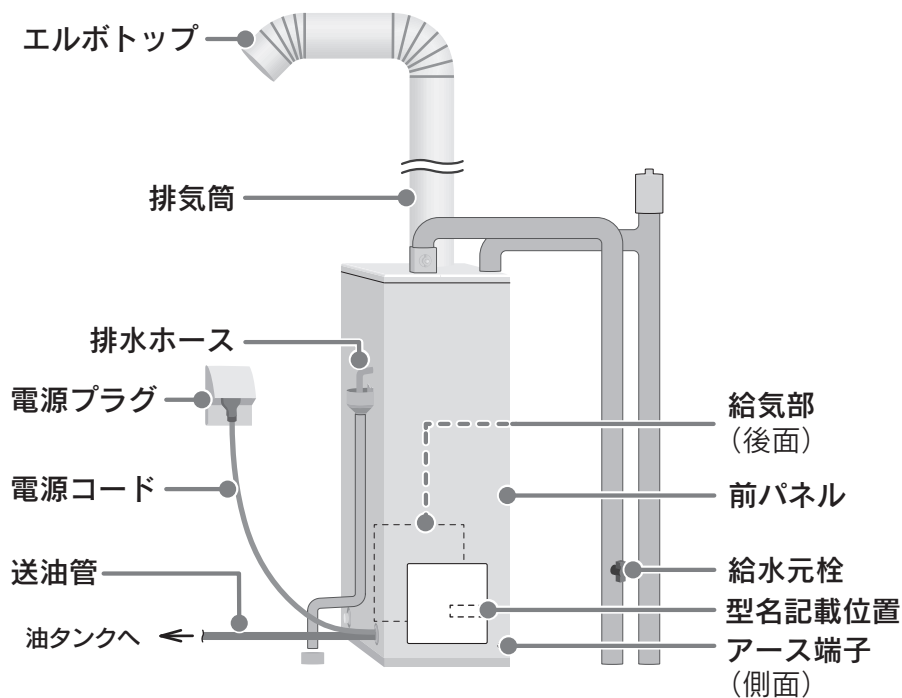
(変色・破損・腐食の原因)

各部のなまえ

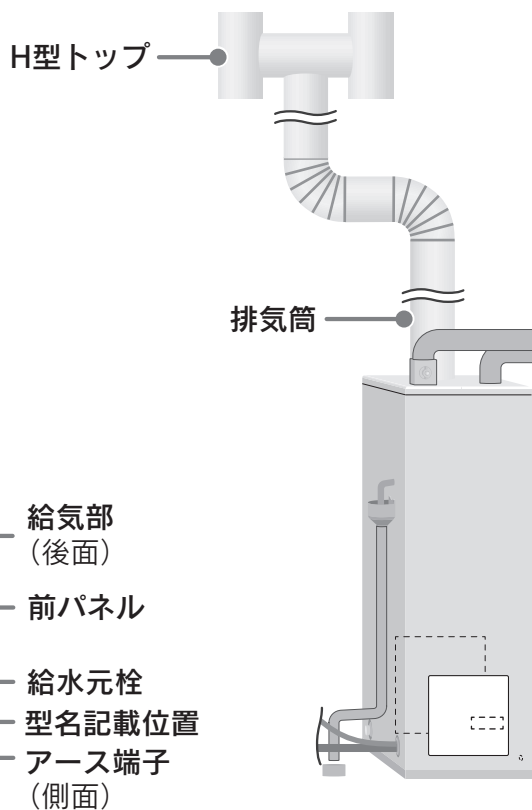
外観図

イラストはイメージです。

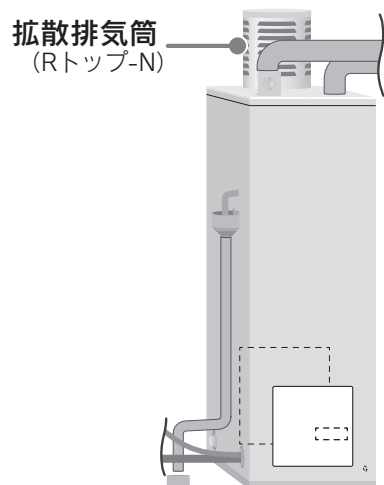
強制排気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(エルボトップ)取付時



強制通気タイプ(屋内外設置) 2ページ ※排気筒(H型トップ)取付時



無煙突タイプ(屋外設置) 2ページ ※拡散排気筒(Rトップ-N)取付時



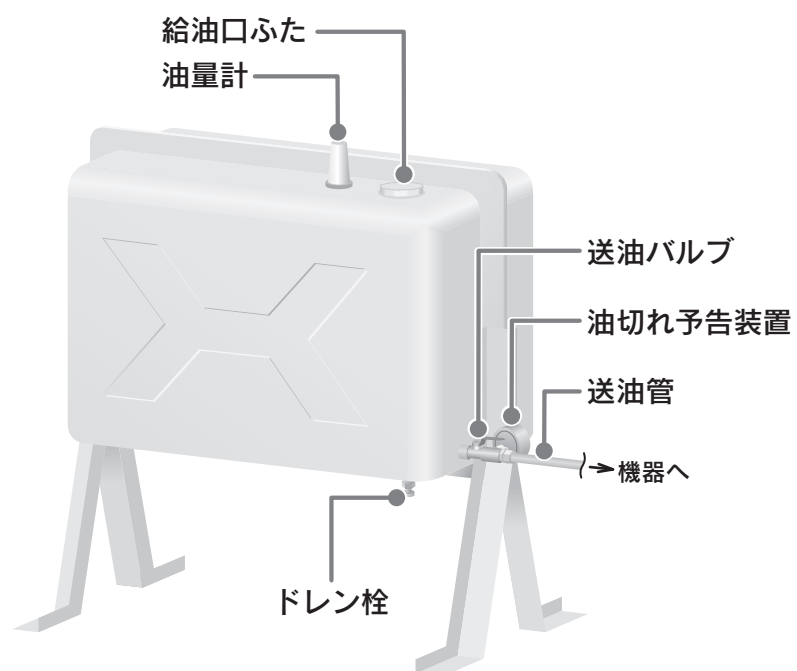
ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

各部のなまえ

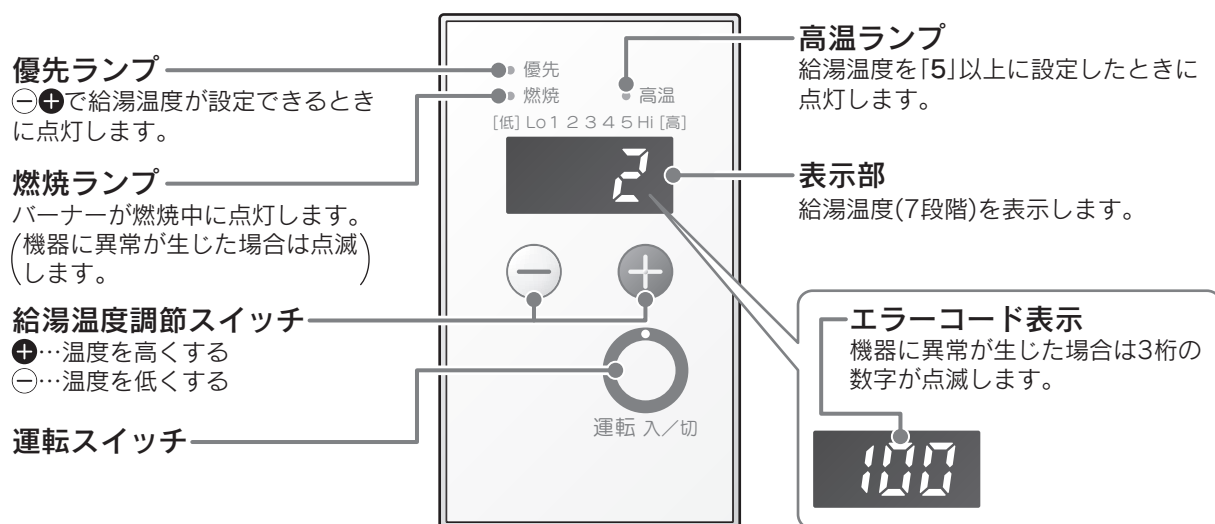
油タンク



リモコンの名称とはたらき

リモコン

台所リモコン(CMR-2803)



ご使用前の準備と確認

燃料

警告

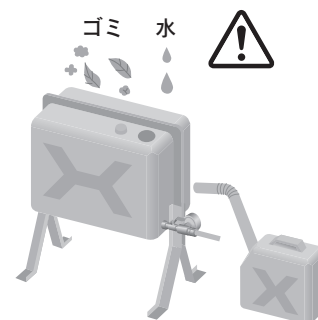
- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

- 燃料切れを起こさないように、こまめに油タンクの油量計を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

- リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。29・30ページ

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

油切れ予告装置について

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
- 「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器本体・排気筒・拡散排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすいものや引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受けるものを置かないでください。 **8・10ページ**

排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。 **11ページ**



※イラストは無煙突タイプです。

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

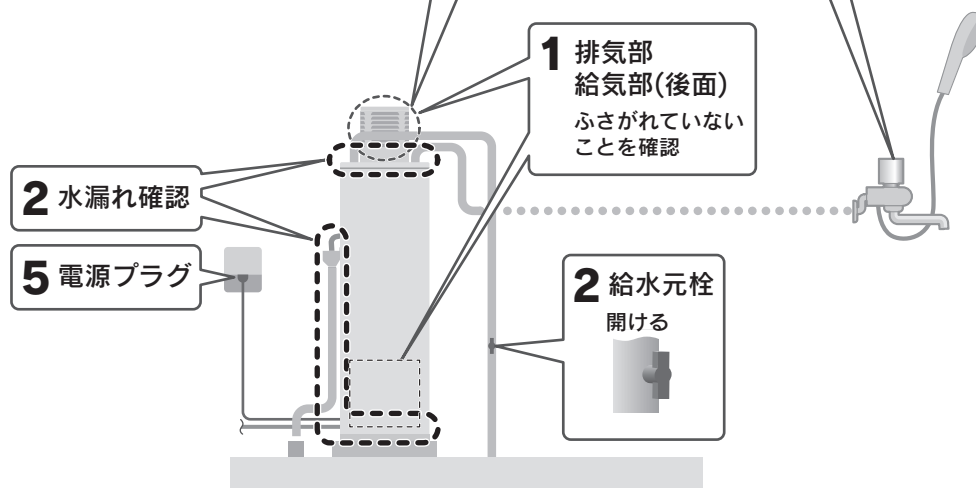
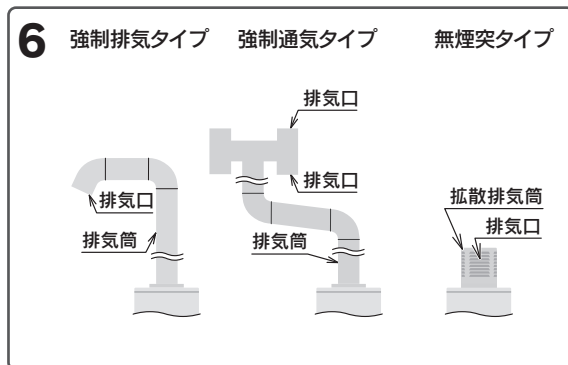
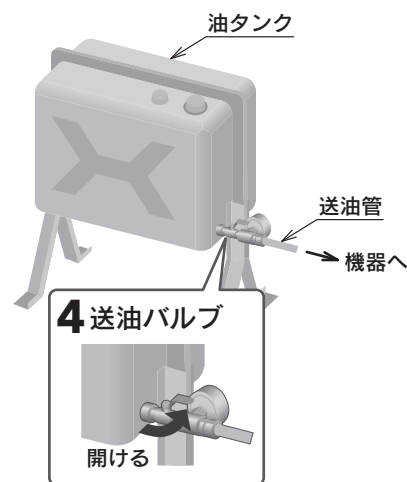
5 電源プラグを差し込む

この機器はAC100Vです。200Vに接続すると機器が破損します。

6 排気筒（屋内設置の場合）の確認

排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。

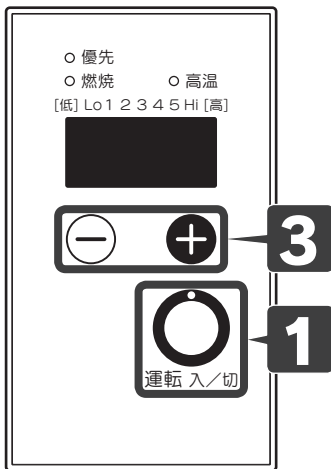
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



シャワーやじゃ口でお湯を使う

給湯温度

シャワーやじゃ口から出るお湯の温度を設定します。



1 〇を押して「入」にする

運転 入/切

- 運転スイッチが「入」になると運転ランプが点灯します。



運転ランプ点灯

運転 入/切

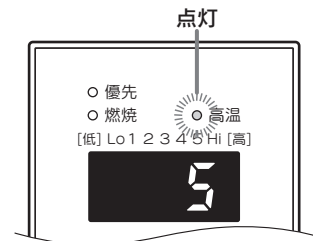
- 優先ランプが点灯します。

増設リモコンを取付けている場合

- 増設リモコンの運転ランプも点灯します。

給湯温度が「5」以上に設定されている場合

すべてのリモコンの高温ランプが点灯し、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。



2 優先を確認する〔増設リモコンを取付けている場合〕

- 優先ランプが点灯したリモコンのみ給湯温度の設定ができます。



リモコンの優先について

- 台所・洗面所・浴室などには同じ温度のお湯が供給されています。お湯を使用中に他の場所で給湯温度を変更すると、やけどなどの事故につながるため、優先ランプが点灯または「優先」を表示したリモコンのみ給湯温度の変更ができるようになっています。

「優先」になっていないリモコンを優先にする方法

- ・台所リモコンを「優先」にする
増設リモコンの優先スイッチを押してください。
(台所リモコンには優先スイッチがありません。)
- ・増設リモコンを「優先」にする
増設リモコンの優先スイッチを押してください。

「優先」を切換えると、「優先」になったリモコンの給湯温度をすべてのリモコンに表示します。
このとき給湯温度が変わると、操作をしていないリモコンもブザーが「ピピッ」と鳴って給湯温度が変わったことをお知らせします。

給湯温度のめやす

- 高 Hi → 75℃
 ・ 5 → 60℃
 ・ 4 → 50℃
 ・ 3 → 45℃
 ・ 2 → 40℃
 ・ 1 → 35℃
 低 Lo → 15℃

給湯温度のめやすは、給湯温度約20℃、出湯量毎時約600リットルの場合です。

バーナーが点火して燃焼している間は、リモコンの燃焼ランプが点灯します。

この給湯器は機器内にお湯を貯めています。バーナーは、お湯の使用や自然放熱などにより機器内のお湯の温度が下がると自動的に点火し、設定温度になると消火します。



やけどに注意！

- お湯を使用する前は、リモコンの給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 給湯温度の変更、運転スイッチを「切」にするときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。特にシャワー使用中は注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。([給湯温度のめやす]参照)

お湯の温度と量のめやす

- 水道水の温度が20℃のとき、お湯の温度45℃・50℃・60℃・75℃で沸き上げ可能な最大量のめやすです。
お湯の量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

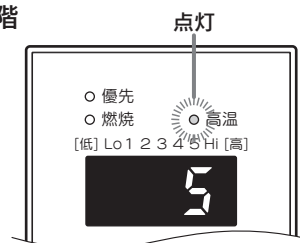
お湯の温度	お湯の量
45℃	1,560L/h
50℃	1,300L/h
60℃	975L/h
75℃	720L/h

3 ー または + で給湯温度を設定する

給湯温度設定範囲

Lo~Hi(約15~75℃)の7段階

- 給湯温度を「5」以上に設定した場合は、高温ランプが点灯し、ブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。



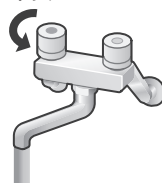
増設リモコンを取付けている場合

- すべてのリモコンが同じ温度になります。
- 給湯温度を変更すると、操作をしていないリモコンもブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

4 給湯栓を開ける(お湯を出す)

- 給湯栓と給湯器が離れている場合は、お湯になるまでに時間がかかることがあります。

開ける



5 給湯栓を閉める(お湯を止める)

- 長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。

閉める



冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)

凍結予防

凍結予防には「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときはバーナーを運転させ、機器内の給水経路の凍結を予防します。

1 給湯栓を閉める

2 リモコンの運転スイッチを「入」にする

3 給湯温度を「Lo」に設定する

特に冷え込みが厳しいと予想される日は、給湯温度を「Hi」に設定しリモコンの燃焼表示が消灯するまで燃焼させたのち、「Lo」に設定してください。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯が出れば凍結していません。)
確認後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、じゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

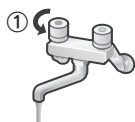
2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに回す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 屋内1箇所のじゃ口から水を流してください。浴そう内に水を流すと、洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。(浴そうにじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切換えて浴そう内に流してください。)
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを「切」にしたりすると、凍結予防装置が作動しませんので注意してください。

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときや電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

2 2分間以上経過してから電源プラグを抜く

3 給水元栓を閉める

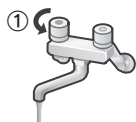
4 缶体排水栓(バルブ)を開ける

5 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

(減圧水出口から配管されている場合は、配管先の給水栓も開ける)

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

6 水フィルタをはずす(※1・※2)

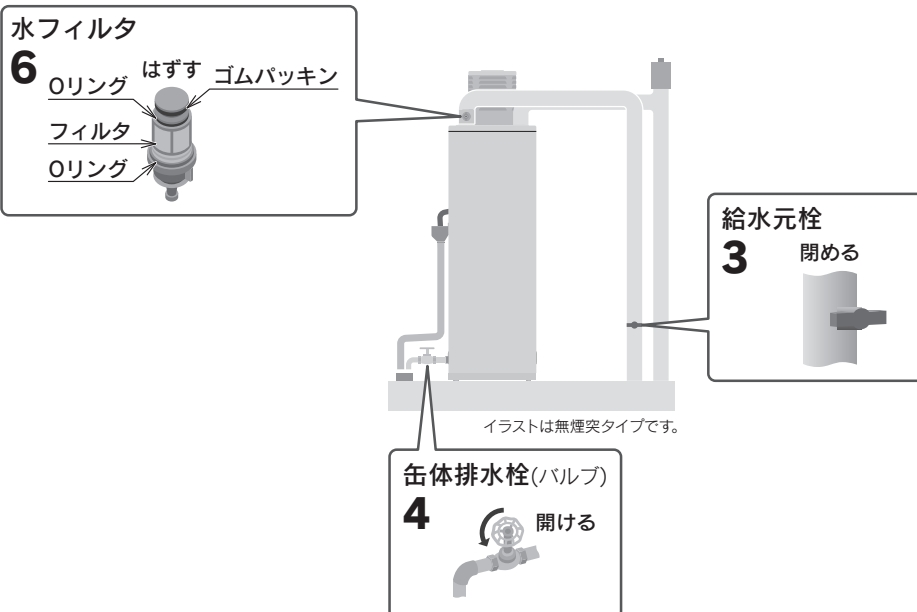
水抜き終了後、水フィルタは次にお使いになるまではずしたままにしてください。

(はずした水フィルタはなくさないように注意してください。また、水フィルタのフィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンを傷つけないように注意してください。)

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)



お知らせ

- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 **20ページ**
- 5で開けた給湯栓は、再使用するときまで開けたままにしてください。

冬期の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

1 缶体排水栓(バルブ)を閉める

2 水フィルタを取付ける

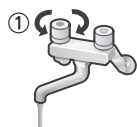
3 給水元栓を開ける

4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

(減圧水出口から配管されている場合は、配管先の給水栓からも水が出ることを確認して閉める)
水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

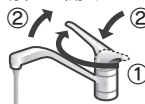
●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

5 電源プラグを差し込む



6 「点火前の準備と確認」(15ページ)と「基本の使いかた」(16・17ページ)に従って使用する

水フィルタ
2 取付ける



給水元栓
3 開ける



イラストは無煙突タイプです。

缶体排水栓(バルブ)
1 閉める



凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

2 ときどき給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

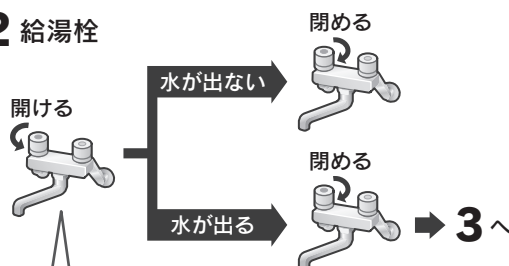
3 すべての給水栓・給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、配管・給水元栓・給湯栓が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

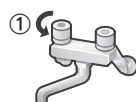
4 「点火前の準備と確認」(15 ページ) と「基本の使いかた」(16・17 ページ) に従って使用する

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

②給湯栓を開ける



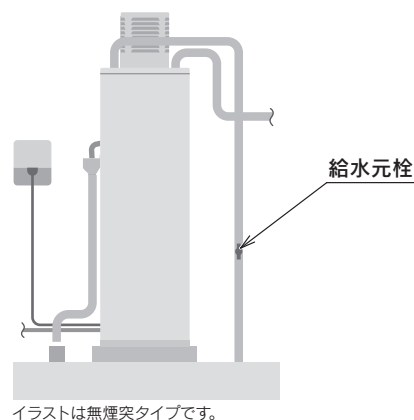
●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。



イラストは無煙突タイプです。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。 **19 ページ**

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

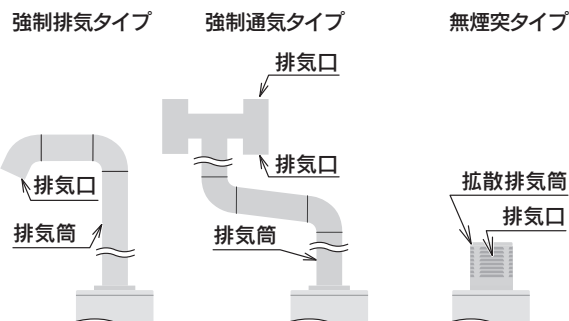
機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・排気筒・拡散排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすいものがないことを確認してください。

排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

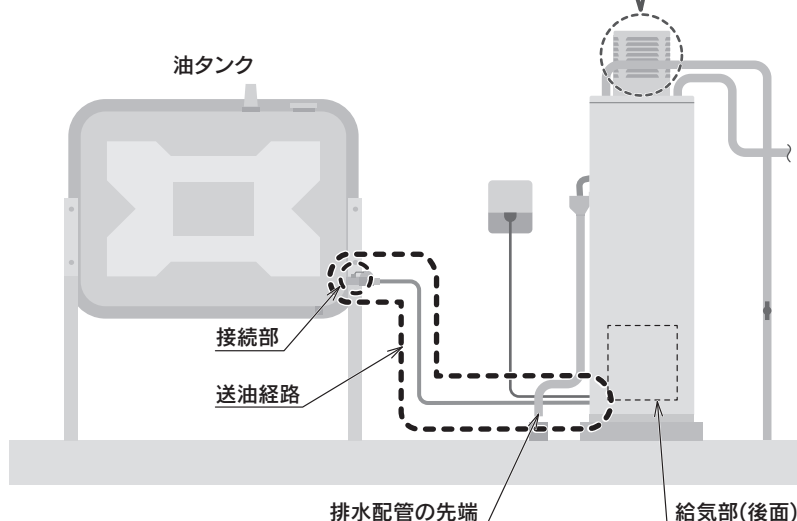


機器外観

- 排気口・給気部・排水配管の先端
ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。
- 外装
部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことなどを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。



適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

- 水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水フィルタの掃除

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますが、異常ではありません。掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけたりしないように注意してください。

4 水フィルタを元通りに取付ける

5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

水フィルタ

- 3 はずす
4 取付ける
7



給水元栓

- 1 閉める
5 開ける

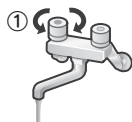
イラストは無煙突タイプです。

給湯栓

- 2
6

●2ハンドル混合水栓

- ①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

- ①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

- ①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

日常の点検・手入れ

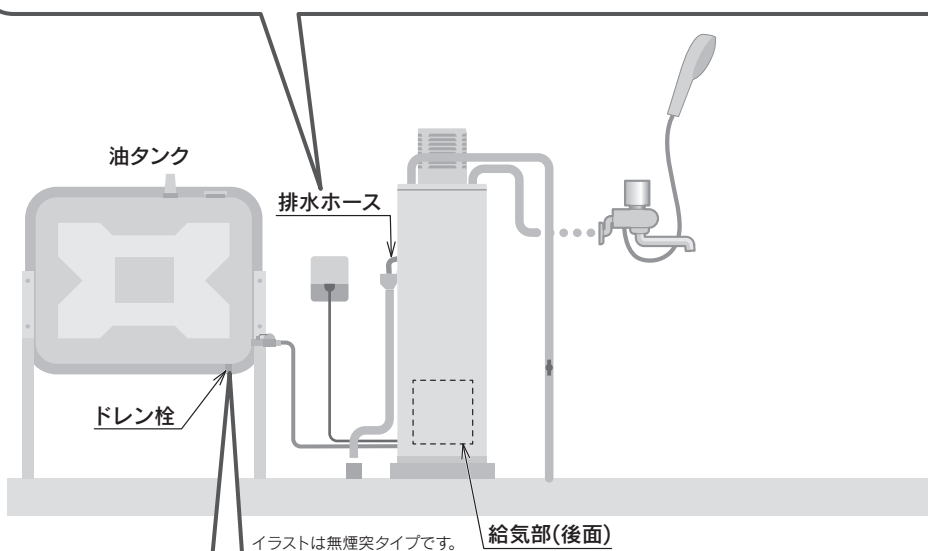
1年に1回以上

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

排水ホースの確認

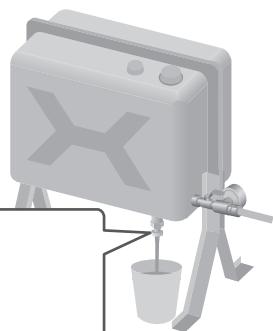
バーナーが燃焼していない状態で、排水ホースから水が出ていないことを確認してください。
(燃焼中または燃焼後約1分間は水が出ることがありますが、異常ではありません。)
常に水が出ている場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



11ページ

油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。



1. 油タンク下部のドレン栓の下に、灯油を受ける容器を置く。
2. ドレン栓を開け、約200cc排水する。
3. 容器にたまった液体が分離していれば灯油に水が混ざっているので、一度容器を空にし、再度約200cc排水する。
(分離しなくなるまで繰り返す。
分離していなければ水は混ざっていないので、出た灯油は油タンクへ戻す。)
4. 水抜きが完了したら、ドレン栓を閉める。

油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

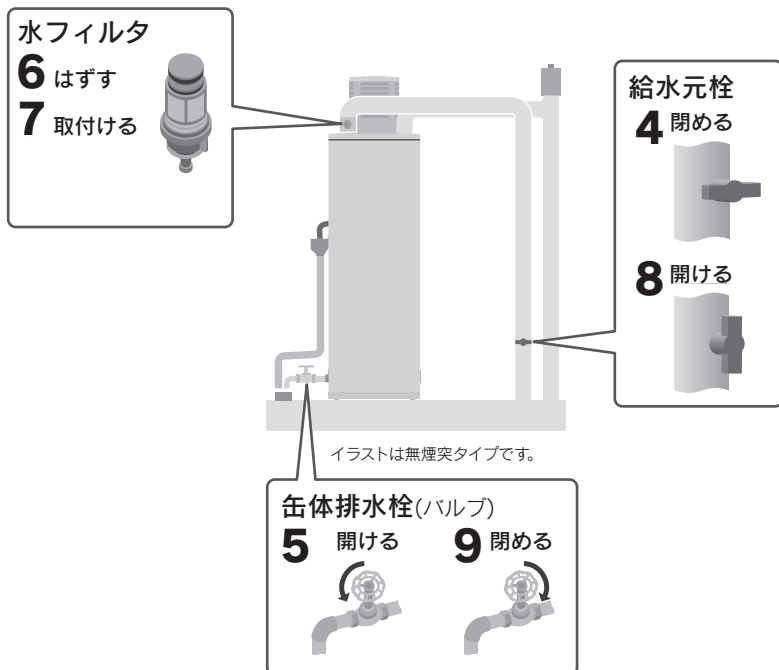
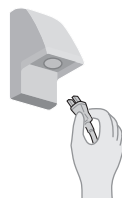
ゴム製送油管の点検・交換のめやす (屋内設置の場合)

ゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

給湯熱交換器の掃除

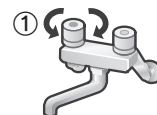
給湯熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする
- 2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める
出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。
- 3 電源プラグを抜く
- 4 給水元栓を閉める
- 5 機器の缶体排水栓(バルブ)と屋内の給湯栓を1箇所開ける
- 6 水フィルタをはずし給湯熱交換器内の水を排水する ※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。
- 7 水フィルタを取付ける
- 8 給水元栓を開ける
- 9 缶体排水栓(バルブ)からきれいな水が出てきたら、缶体排水栓(バルブ)を閉める
- 10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める
はじめは空気混じりの水が出ます。
- 11 電源プラグを差し込む

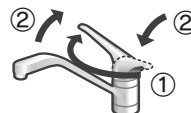


給湯栓

- 2 ●2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける / 閉める
- 5
- 10



- シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱい回す
②給湯栓を開ける / 閉める



- サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、設置完了時に工事社員へお渡し戴くか、郵便ポストに投函してください。(朝日ソーラーホームページからの登録も可能です。)
いただいた所有者情報を基に、法定点検期間の前に弊社より点検通知を送付いたします。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

	こんなときは	確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 21ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	●燃料切れしていませんか。給油してください。 14ページ ●リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ●水フィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 23ページ ●給湯栓のフィルタにごみなどがつまっていますか。掃除してください。 ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
	お湯が出なくなった	●燃料切れしていませんか。給油してください。 14ページ ●安全装置の作動が考えられます。 33ページ ●リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 29・30ページ ・対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	停電後、復帰したのにお湯が出ない	●停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	●配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい (設定した温度にならない)	●リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ●サーモスタット付混合水栓を使用してぬるいときは、リモコンの給湯温度を確認してください。湯温安定のためリモコンの給湯温度は混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。 ●1箇所のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓故障の可能性もあります。
	お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	●次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。
	低温のお湯が出ない	●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。
	高温のお湯が出ない	●給湯温度の設定が低くなっていますか。
	給湯温度が変更できない	●操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切換えてください。
	お湯が白く見える	●水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
機器	排気口から湯気が出る	●排ガス中の水蒸気が、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音が出る	●燃焼室内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	排水ホースからお湯(水)が出る	●燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	●「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 14ページ

リモコン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	●停電していませんか。 ●電源プラグが差し込まれていますか。 ●その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 33ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	●使用中は表示部が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしているでも電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	操作していないのに音が出る	●他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからもブザーでお知らせすることがあります。
	表示部の色が変わる	●表示部を正面以外から見ると表示色が変わって見えることがあります。また表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
	表示部の切り替わりが遅い	●気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

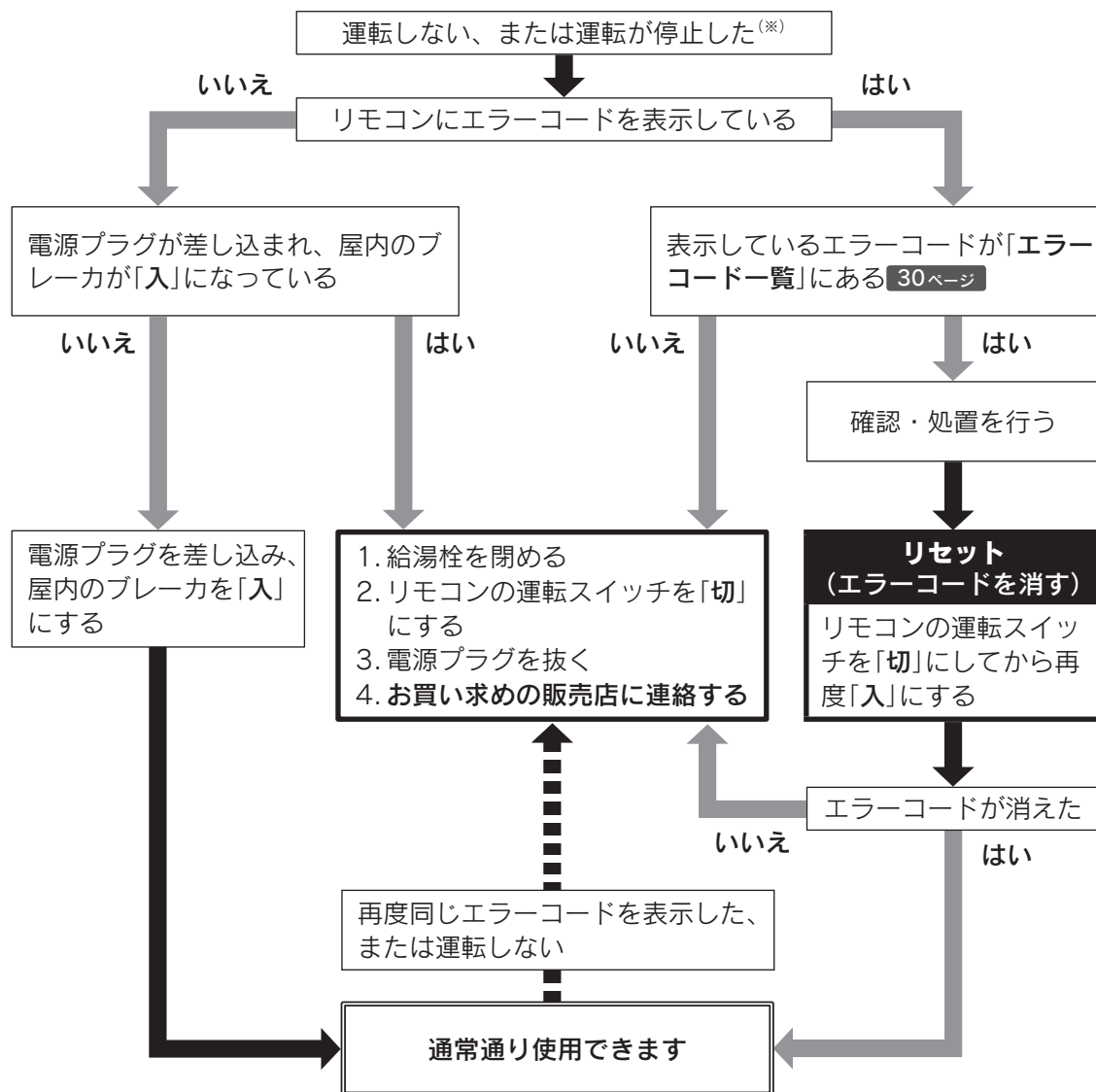


エラーコード

表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



※運転を停止しないエラーコードもあります。

故障かな？と思ったら

エラーコード一覧

エラーコード	説 明	確 認・処 置
000	停電復帰検知	停電の有無を確認してください。
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110	着火できない	燃料切れをしていませんか。油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブは充分開いていますか。
120	燃焼中に火が消えた	（燃料切れをしていた場合は、リセットを2、3回行ってください。約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。） 14ページ
130	再点火防止機能作動	お買い求めの販売店にご連絡ください。
150	過熱防止装置作動（非燃焼時）	
151	過熱防止装置作動（ハイカットサーミスタ作動）	
160	過熱防止装置作動（燃焼時）	
301	外気温を検知できない（警告表示）	使用できますが、凍結予防装置が作動しません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
321	給湯サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
360	過熱防止装置異常（ハイカットサーミスタ異常）	
610	送風機異常	
720	炎検出異常	
731	制御基板（記憶回路）異常	
732	制御基板（記憶回路）異常（サブ基板）	
733	制御基板（記憶回路）異常（制御基板＋サブ基板）	
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 （リセットは必要ありません。）
830	灯油の残量が少ない（警告表示）	油タンクに灯油を入れてください。
888	設計標準使用期間経過（警告表示）	お早めに法定点検を受けてください。 （法定点検の詳細は別紙の「特定保守製品についての説明書」を参照してください。） 「888」表示はリモコンの運転スイッチを10秒間に5回以上押すことで一時的に消すことができます。（点検を受けないと1年後に再表示します。）法定点検を受けた後は、3年後に再表示します。 連 絡 先：朝日ソーラー株式会社  電話 0120-268-315（通話料無料） 受付時間：24時間365日オペレーターが受付いたします。

■警告表示について

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕 様

型名			ASB-395SSG		
型式の呼び			IB-456		
種類			圧力噴霧式・水道直結式・貯湯式急速加熱形		
			屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形・屋内外用半密閉式強制通気形		
点火方式			高圧放電式		
使用燃料			灯油 (JIS1 号灯油)		
燃料消費量			51.4kW(5.00L/h)		
連続給湯効率			87.5%		
連続給湯出力			45.3kW(39,000kcal/h)		
給湯量 (※)	お湯の温度	45℃	1,560L/h		
		50℃	1,300L/h		
		60℃	975L/h		
		75℃	720L/h		
熱交換器容量			15.9L		
使用圧力 (最高使用圧力)			0.1MPa(1.0kgf/cm ²)		
伝熱面積			0.95m ²		
外形寸法			高さ 833mm	幅 300mm	奥行 591mm
質量 (満水時)			32kg(49kg)		
電源電圧及び周波数			100V 50/60Hz		
定格消費電力		点火時	115/110W		
		燃焼時	87/ 83W		
待機時消費電力			1.7W		
排気温度			260℃以下		
排気筒の呼び径			106		
騒音レベル			45dB(A)		
電流ヒューズ			10A		
送風機ヒューズ			3A		
安全装置			対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
その他の装置			凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置		
付属品			台所リモコン一式・リモコンコード・排水用ホッパー・送油管・給水口保温材 給油口フィルター・転倒防止金具・プラグ (1/2)・表示シール (2 種類)・アース棒 油切れ予告装置一式・取扱説明書・工事説明書・所有者票袋		
区分名 (省エネ法)			B		
エネルギー消費効率			87.5%		

※水道水の温度が20℃のとき沸き上げ可能な最大量のめやすです。給湯量は給水温度・混合水栓・配管などの条件より変動します。

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに作動して運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して運転を停止します。
過熱防止装置	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに作動して運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。凍結のおそれなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
電流ヒューズ (10A)	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、作動して運転を停止します。
送風機ヒューズ (3A)	
油切れ予告装置	灯油の残量が少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事は買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のため必ずお守りください(特に注意していただきたいこと)」をお読みになり、買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときには買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設は買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが完了しましたら、工事説明書の「安全のため必ずお守りください(特に注意していただきたいこと)」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

試運転はお買い求めの販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆U字型になっていませんか。	
4. 給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
6. リモコンは確実に接続されていますか。	
7. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- リモコンの表示部にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、エラーコードを参照して確認・処置を行ってください。[29・30ページ](#)
- 試運転終了後は、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

1.運転開始

リモコンの運転スイッチを「入」にします。
「優先」が表示したリモコンの給湯温度調節スイッチで希望の温度に調節してください。
給湯栓を開けてください。

2.初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ビービー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり燃焼を始めます。

3.正常運転のめやす

給湯温度の調節ができること、排気筒・拡散排気筒・排気部からススや煙が出ていないこと、異常な音がしていないことを確認してください。
燃焼しないときはもう一度「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。[14ページ](#)

4.停止

リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」**27～30ページ**を確認していただき、直らないときは保証書に記載の**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料＋②部品代＋③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	Asahi石油小形給湯機
型名	ASB-395SSG
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。(別添付)
正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。



朝日ソーラー株式会社

大分本社 / 〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2
TEL:097-546-7500(代) FAX:097-546-7555
URL:<http://www.asahisolar.co.jp>

修理・その他ご不明な点等ありましたらご連絡ください。
お問い合わせ先は

フ ロ ハ サ イ コー
0120-268-315

24時間365日オペレーターが受付いたします。

販 売 店